

# 日露戦争におけるトルコと日本の関係

The Rising Sun and the Turkish Crescent  
2003年 Selcuk Esenbel Inaba Chiharu  
BOGAZICI UNIVERSITY PRESS  
ISTANBUL2003

---

名城大学 都市情報学部 150781166 日永綾乃

## A) 日露戦争開戦（1904年2月～1905年9月）

- ア) 1904年 2月10日 日本はロシアに宣戦布告
  - i) 朝鮮・満州の支配権をめぐる対立から軍事衝突
- イ) 当時ロシアは世界最強の軍隊を保持
  - バルト艦隊(バルチック艦隊)・黒海艦隊・太平洋艦隊
- ウ) 日本は1894年 日清戦争以来軍事力強化

エ) ロシアは日本を倒す為

→バルト海からバルチック艦隊を派遣

オ) ロシアは黒海艦隊を保持、それが地中海に出航  
イスタンブールのボスポラス海峡とダーダネルス海  
峡を通過予定

i)黒海とマルマラ海を締結

ii)マルマラ海とエーゲ海を締結

iii) 地中海への航路



カ) 1856年 ボスポラス海峡とダーダネルス海峡はパリ条約によりトルコ以外の軍艦の通過禁止

i) 1902年日英同盟

キ) オスマン帝国・イスタンブールで日本とトルコの民間大使 山田寅次郎が政府からある任務を任命  
→当時 日本とトルコ間是非国交  
→駐オーストラリア特命全権公使牧野伸顕から指示

ク) ロシアの黒海艦隊の動向、海峡通過状況を監視

i) イスタンブールのガラタ塔でトルコ人20人配置

ケ) トルコはロシアから脅威的威圧の連続

i) クリミア戦争(1853-1856)

ii) 露土戦争(1877-1878)

→ 日本とトルコにとって南下政策を推進中のロシア  
は共通の敵

→ボスポラス海峡とダーダネルス海峡は、  
地中海と黒海間の輸送にとって大変重要

ケ)トルコ政府はイギリス代理大使と相談し条件付きで  
ロシア船通過を許可

条件→ i) 1日1隻ずつの通過

ii) 魚雷船は武装軍人の乗船禁止

iii) 海峡通過後も軍艦旗の掲載禁止

iiii) トルコ官吏を派遣 武器搭載の有無を点検



B) 1904年 7月4日 ロシアの偽装義勇艦隊が  
ボスポラス海峡・ダーダネルス海峡を通過

ア) 義勇船3隻が貨物船に偽装

イ) 食料や飲料を補給 出航準備を目撃

ウ) バルト海艦隊に合流

エ) 山田寅次郎 牧野に報告 牧野から本省へ打電

オ) 英はバルチック艦隊の入港拒否

石炭の積み込みの不自由

→ 航行を邪魔 日英同盟締結の為

カ) 1905年 ロシア軍は対馬海峡に到達

キ) 日本はロシア軍 旅順要塞を占領

→これを予測済みの日本連合艦隊は対馬沖でバルチック艦隊を先制攻撃

Ｃ) ロシアに長年圧迫のオスマン帝国国内は日本の勝利に熱狂

ア) トルコにとって日本人山田寅次郎は英雄

イ) 1924年日本とトルコ間に国交が樹立

i) 1926年 日土協会発足

ii) 1930年日土通商航海条約締結 両国の関係は強固



D) 真実